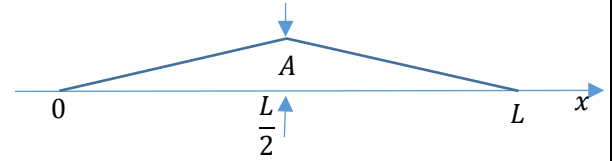


【問】両端を固定した長さ L の弦(弦を張った方向を x 軸とする)を伝わる横波(振動の方向を y 軸とする)の速さが c である, $t = 0$ において弦の中央をつまんで変位が A となるように引っ張り, 静かに離れた:

境界条件: $y(0, t) = y(L, t) = 0$,

初期条件: $\frac{\partial y(x, 0)}{\partial t} = 0, y(x, 0) = g(x) = \begin{cases} 2A \left(\frac{x}{L}\right) & \dots 0 \leq x \leq \frac{L}{2} \\ 2A \left(1 - \frac{x}{L}\right) & \dots \frac{L}{2} \leq x \leq L \end{cases}$,

この弦の運動をフーリエ解析を用いて調べよ. 次の順で考えよ.



1. この弦を伝わる波を解とする波動方程式を記せ.

2. $f_n(x, t) = B \sin\left(n\frac{\pi}{L}x\right) \cos(\omega_n t)$ (n は自然数) は前問の波動方程式の解であるという.

2-1 これらの波は定在波か進行波かを, 理由とともに答えよ.

2-2 ω_n を L, c, n を用いて表せ. ヒント: 波動方程式に $f_n(x, t)$ を代入せよ.

2-3 f_1 について, \cos の位相が $0, \frac{\pi}{2}, \pi$ となる時刻を選び, 波の様子をスケッチせよ (時刻も記す).

2-4 f_2 について, \cos の位相が $0, \frac{\pi}{2}, \pi$ となる時刻を選び, 様子スケッチせよ (時刻も記す).

3. 問 2 を一般化した波

$$f(x, t) = X(x) T(t)$$

が波動方程式を満たすという. ここで $X(x)$ は x だけの関数で変数 t を含まず, $T(t)$ は t だけの関数で x を含まない. この $f(x, t)$ を波動方程式に代入し, $X(x)$ が従う微分方程式 $\frac{d^2X}{dx^2} = KX$ と, $T(t)$ が従う微分方程式 $\frac{d^2T}{dt^2} = c^2KT$ を導け. ヒント: 変数分離

4. 波は時間的に振動するので, 問 3 で導いた式において $K < 0$ である. あらためて $K \rightarrow -K^2$ と書き換える (もちろん, 置換前の K の絶対値の平方根が, 置換後の K)

$$\frac{d^2X}{dx^2} = -K^2X, \quad \frac{d^2T}{dt^2} = -c^2K^2T$$

4-1 まず $\frac{d^2X}{dx^2} = -K^2X$ の一般解を求め, $X(0) = X(L) = 0$ となる特解が $X(x) = X_n \sin\left(n\frac{\pi}{L}x\right)$ となることを確認せよ. ヒント: 振幅 X_n は決まらないままでよいが, 波長は決まる.

4-2 前問 4-1 で定めた $K_n = n\frac{\pi}{L}$ を用いて, $\frac{d^2T}{dt^2} = -c^2K_n^2T$ の一般解を求めよ. 静かに放したので, $t=0$ における速度が 0 であることに対応し $\frac{dT}{dt}(0) = 0$ を満たす特解が $T(t) = T_n \cos\left(n\frac{c\pi}{L}t\right)$ となることを確かめよ. ヒント: 振幅は決まらないままでよい.

ここまでで得られた知識を総合すると, 波動方程式 $\frac{\partial^2 y}{\partial x^2} - \frac{1}{c^2} \frac{\partial^2 y}{\partial t^2} = 0$ を満たす解で $f(x, t) = X(x) T(t)$ の形のもののうち, 境界条件: $y(0, t) = y(L, t) = 0$, 初期条件: $\frac{\partial y(x, 0)}{\partial t} = 0$ を満たすのは

$$f_n(x, t) = X_n \sin\left(n\frac{\pi}{L}x\right) \times T_n \cos\left(n\frac{c\pi}{L}t\right) = A_n \sin\left(n\frac{\pi}{L}x\right) \cos\left(n\frac{c\pi}{L}t\right), \quad A_n \equiv X_n T_n, \quad n \text{ は自然数}$$

の形になる.

さらに, 波動方程式の線形性から, $f_n(x, t)$ の和 (同じことだが線形の重ね合わせ) もまた同じ条件を満たす解である:

$$f(x, t) = \sum_{n=1}^{\infty} f_n(x, t)$$

が初期条件

$$y(x,0) = g(x) = \begin{cases} 2A \left(\frac{x}{L}\right) & \dots 0 \leq x \leq \frac{L}{2} \\ 2A \left(1 - \frac{x}{L}\right) & \dots \frac{L}{2} \leq x \leq L \end{cases}$$

を満たすように係数 A_n を決めれば、この初期条件から出発する波の運動が記述できたことになる。

5.

$$f(x,t) = \sum_{n=1}^{\infty} f_n(x,t) = \sum_{n=1}^{\infty} A_n \sin\left(n\frac{\pi}{L}x\right) \cos\left(n\frac{c\pi}{L}t\right)$$

で $t = 0$ とすると最初の弦の形 $g(x)$ と一致する。このことを用いて A_n を g との関係で表す。 m は自然数。

既に、 g とよく似た形の波形のフーリエ級数をすでに学んでいる：

$$h(t) = \begin{cases} 1 + 4\frac{t}{T} \dots - \frac{T}{2} < t \leq 0 \\ 1 - 4\frac{t}{T} \dots & 0 < t \leq \frac{T}{2} \end{cases} \quad \text{三角波 } \pm 1, t=0 \text{ でピーク, 左右対称}$$



のフーリエ級数展開は

$$h(t) = \frac{8}{\pi^2} \left\{ \cos \omega t + \frac{1}{3^2} \cos 3\omega t + \frac{1}{5^2} \cos 5\omega t + \dots \right\}$$

となる。

5-1 グラフの形の比較： h のグラフを $1/4$ 周期だけ右にずらすと、 g のグラフと相似になることを確認せよ。 h のグラフを g のグラフとして用いるとき、弦の長さ L と ω の関係を調べよ（ ω を L のどんな関数で置き換えるとよいか）。

5-2 $h(t)$ の各項の t に $\left(t - \frac{T}{4}\right)$ を代入し、各項をサイン関数を用いて式を書き直せ。その結果に基づき、 $g(x)$ をサイン関数の和で表せ。

5-3 上問 5-2 の結果と

$$\sum_{k=1}^{\infty} f_k(x,0) = \sum_{k=1}^{\infty} A_k \sin\left(k\frac{\pi}{L}x\right)$$

とを比べて A_k を A により表せ。

6. すべてを総合し、与えられた初期条件と境界条件のもとで、フーリエ展開を用いた弦の横波の式を記せ。

答案

1. この弦を伝わる波を解とする波動方程式を記せ.

【解】

$$\frac{\partial^2 y}{\partial x^2} - \frac{1}{c^2} \frac{\partial^2 y}{\partial t^2} = 0$$

2. $f_n(x, t) = B \sin\left(n \frac{\pi}{L} x\right) \cos(\omega_n t)$ (n は自然数) は前問の波動方程式の解であるという.

2-1 これらの波は定在波か進行波かを, 理由とともに答えよ.

【解】

波形 $B \sin\left(n \frac{\pi}{L} x\right)$ が時間とともに移動せず, $\cos(\omega_n t)$ にしたがって振動するだけである.

とくに $n \frac{\pi}{L} x = m\pi \rightarrow x = \frac{m}{n} L$ の位置では時間によらず常に振幅が 0 (節) となる. これより定在波である.

2-2 ω_n を L, c, n を用いて表せ. ヒント: 波動方程式に $f_n(x, t)$ を代入せよ.

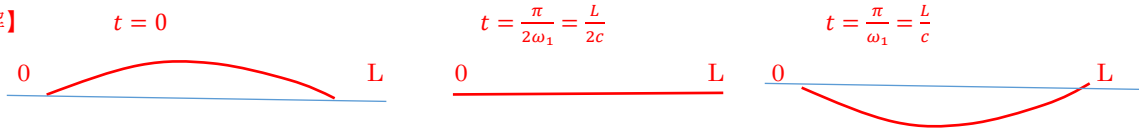
【解】

$$\frac{\partial^2 y}{\partial x^2} = -\left(n \frac{\pi}{L}\right)^2 B \sin\left(n \frac{\pi}{L} x\right) \cos(\omega_n t), \quad \frac{\partial^2 y}{\partial t^2} = -\omega_n^2 B \sin\left(n \frac{\pi}{L} x\right) \cos(\omega_n t) . \text{ 波動方程式が成り立ち } B \neq 0 \text{ のとき}$$

$$\left(n \frac{\pi}{L}\right)^2 - \frac{1}{c^2} \omega_n^2 = 0 \rightarrow \omega_n = \pi \frac{c}{L} \times n$$

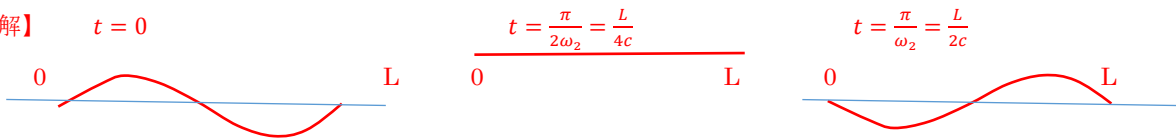
2-3 f_1 について, \cos の位相が $0, \frac{\pi}{2}, \pi$ となる時刻を選び, 波の様子をスケッチせよ (時刻も記す).

【解】



2-4 f_2 について, \cos の位相が $0, \frac{\pi}{2}, \pi$ となる時刻を選び, 様子スケッチせよ (時刻も記す).

【解】



3. 問 2 を一般化した波

$$f(x, t) = X(x) T(t)$$

が波動方程式を満たすという. ここで $X(x)$ は x だけの関数で変数 t を含まず, $T(t)$ は t だけの関数で x を含まない. この $f(x, t)$ を波動方程式に代入し, $X(x)$ が従う微分方程式 $\frac{d^2 X}{dx^2} = KX$ と, $T(t)$ が従う微分方程式 $\frac{d^2 T}{dt^2} = c^2 K T$ を導け. ヒント: 変数分離

$$\text{【解】 } \frac{\partial^2 y}{\partial x^2} = \frac{d^2 X}{dx^2} \times T, \quad \frac{\partial^2 y}{\partial t^2} = X \times \frac{d^2 T}{dt^2} \rightarrow \frac{d^2 X}{dx^2} \times T - \frac{1}{c^2} X \times \frac{d^2 T}{dt^2} = 0 \rightarrow \frac{d^2 X}{dx^2} \times T = \frac{1}{c^2} X \times \frac{d^2 T}{dt^2}$$

両辺を $X \times T$ でわると

$$\frac{1}{X} \frac{d^2 X}{dx^2} = \frac{1}{c^2} \frac{1}{T} \frac{d^2 T}{dt^2}$$

となる. 左辺は x だけの式, 右辺は t だけの式, これらが等しいとは x も t も含まない定数 K である.

$$\frac{1}{X} \frac{d^2 X}{dx^2} = K, \quad \frac{1}{c^2} \frac{1}{T} \frac{d^2 T}{dt^2} = K \rightarrow \frac{d^2 X}{dx^2} = KX, \quad \frac{d^2 T}{dt^2} = c^2 K T$$

4. 波は時間的に振動するので, 問 3 で導いた式において $K < 0$ である. あらためて $K \rightarrow -K^2$ と書き換える (もちろん, 置換前の K の絶対値の平方根が, 置換後の K)

$$\frac{d^2 X}{dx^2} = -K^2 X, \quad \frac{d^2 T}{dt^2} = -c^2 K^2 T$$

4-1 まず $\frac{d^2 X}{dx^2} = -K^2 X$ の一般解を求め, $X(0) = X(L) = 0$ となる特解が $X(x) = X_n \sin\left(n \frac{\pi}{L} x\right)$ となることを確認せよ. ヒント: 振幅 X_n は決まらないままでよいが, 波長は決まる.

【解】 一般解は $X(x) = X_n \sin(Kx) + X'_n \cos(Kx)$

境界条件: $X(0) = X'_n = 0 \rightarrow X(t) = X_n \sin(Kx)$

境界条件: $X(L) = X_n \sin(KL) = 0 \rightarrow KL = n\pi, n = 1, 2, 3, \dots \rightarrow K = n \frac{\pi}{L}$

特解: $X(t) = X_n \sin\left(n \frac{\pi}{L} x\right)$

4-2 前問 4-1 で定めた $K_n = n \frac{\pi}{L}$ を用いて, $\frac{d^2 T}{dt^2} = -c^2 K_n^2 T$ の一般解を求めよ. 静かに放したので, $t=0$ における速度が 0 であることに対応し $\frac{dT}{dt}(0) = 0$ を満たす特解が $T(t) = T_n \cos\left(n \frac{c\pi}{L} t\right)$ となることを確かめよ. ヒント: 振幅は決まらないままでよい.

【解】

一般解は $T(t) = T'_n \sin\left(n \frac{c\pi}{L} t\right) + T_n \cos\left(n \frac{c\pi}{L} t\right)$.

$\frac{dT}{dt} = n \frac{c\pi}{L} T'_n \cos\left(n \frac{c\pi}{L} t\right) - n \frac{c\pi}{L} T_n \sin\left(n \frac{c\pi}{L} t\right), \frac{dT}{dt}(0) = n \frac{c\pi}{L} T'_n = 0 \rightarrow T'_n = 0$

特解は $T(t) = T_n \cos\left(n \frac{c\pi}{L} t\right)$

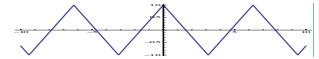
5.

$$f(x, t) = \sum_{n=1}^{\infty} f_n(x, t) = \sum_{n=1}^{\infty} A_n \sin\left(n \frac{\pi}{L} x\right) \cos\left(n \frac{c\pi}{L} t\right)$$

で $t = 0$ とすると最初の弦の形 $g(x)$ と一致する. このことを用いて A_n を g との関係で表わす. m は自然数.

既に, g とよく似た形の波形のフーリエ級数を学んでいる:

$$h(t) = \begin{cases} 1 + 4 \frac{t}{T} \dots - \frac{T}{2} < t \leq 0 \\ 1 - 4 \frac{t}{T} \dots & 0 < t \leq \frac{T}{2} \end{cases} \quad \text{三角波 } \pm 1, t=0 \text{ でピーク, 左右対称}$$



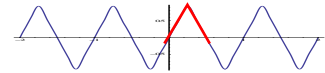
のフーリエ級数展開は

$$h(t) = \frac{8}{\pi^2} \left\{ \cos \omega t + \frac{1}{3^2} \cos 3\omega t + \frac{1}{5^2} \cos 5\omega t + \dots \right\}$$

となる.

5-1 グラフの形の比較: h のグラフを $1/4$ 周期だけ右にずらすと, g のグラフと相似になることを確認せよ. h のグラフを g のグラフとして用いるとき, 弦の長さ L と ω の関係を調べよ (ω を L のどんな関数で置き換えるとよいか).

【解】 L は h のグラフの周期の $1/2$ であるから, $\omega = \frac{2\pi}{T} \rightarrow \frac{\pi}{L} \left(= \frac{2\pi}{2L} \right)$ という置き換えになる



5-2 $h(t)$ の各項の t に $\left(t - \frac{T}{4}\right)$ を代入し各項をサイン関数で書き直せ. その結果をもちいて $g(x)$ をサイン関数の和で表せ.

【解】

$$\cos\left[\omega\left(t - \frac{T}{4}\right)\right] = \cos\left(\omega t - \frac{\pi}{2}\right) = \sin \omega t, \quad \cos\left[3\omega\left(t - \frac{T}{4}\right)\right] = \cos\left(3\omega t - \frac{3}{2}\pi\right) = -\sin 3\omega t, \quad \cos\left[5\omega\left(t - \frac{T}{4}\right)\right] = \sin 5\omega t, \text{ etc}$$

$$g(x) = A \times \frac{8}{\pi^2} \left\{ \sin\left(\frac{\pi}{L} x\right) + \frac{-1}{3^2} \sin\left(3 \frac{\pi}{L} x\right) + \frac{1}{5^2} \sin\left(5 \frac{\pi}{L} x\right) + \dots \right\} = \frac{8A}{\pi^2} \sum_{n=0}^{\infty} \frac{(-1)^n}{(2n+1)^2} \sin\left[\frac{(2n+1)\pi}{L} x\right]$$

5-3 上問 5-2 の結果と

$$\sum_{k=1}^{\infty} f_k(x, 0) = \sum_{k=1}^{\infty} A_k \sin\left(k \frac{\pi}{L} x\right)$$

とを比べて A_k を A により表せ.

【解】

$$A_{2n} = 0, \quad A_{2n+1} = \frac{8A}{\pi^2} \frac{(-1)^n}{(2n+1)^2}$$

6. すべてを総合し, 与えられた初期条件と境界条件のもとで, フーリエ展開を用いた弦の横波の式を記せ.

【解】

$$f(x, t) = \sum_{n=0}^{\infty} \frac{8A}{\pi^2} \frac{(-1)^n}{(2n+1)^2} \sin\left((2n+1) \frac{\pi}{L} x\right) \cos\left((2n+1) \frac{c\pi}{L} t\right)$$

弦の基準振動を重み $\frac{8A}{\pi^2} \frac{(-1)^n}{(2n+1)^2}$ で加え合わせた. 各基準振動が $\omega_m = \frac{2\pi c}{\lambda_m}, \lambda_m = \frac{2L}{m}$ の角振動数で振動する.